



3年学年だより

発行日:令和7年2月 28 日(金)

発行者:横浜市立南高等学校附属中学校

学校長:星野 浩 NO.10



MINAMI

令和6年度の有終の美を求めて

今月は南高校附属中学校 14 期生適性検査、南高校 72 期生高校入試が実施されました。南高校および附属中学校にも新しい春の足音が聞こえてきます。令和 6 年度の附属中学校の生活も残りひと月となりました。今年度の総仕上げをしている各学年の様子をお伝えします。

保護者の皆さま、1 年間さまざまな場面でお力添えいただきありがとうございました。令和 6 年度も残りひと月、よろしく願いいたします。

学力

3年学年主任

「学力」。みなさんが考える「学力」が意味するものとは何でしょうか。「テストの点数」、「学校での通知表」、「勉強で覚えた知識」など。このような意味合いのものが頭に思い浮かぶ人も多いのではないのでしょうか。しかし「学力」という語句は「学ぶ力」と捉えることもできます。人間は誰も「学ぶ力」を持っています。生まれたばかりの頃にはできなかったことが、歳を重ね成長するごとにできるようになっているのは、「学ぶ力」があるからこそだと思います。また、そのできるようになったことやわかるようになったことは、他者に事細かく教えてもらったことばかりではないはずです。自分で経験したり、調べたり、人に教わったことを結びつけたりしてできるようになったことばかりだと思います。そうであるならば人間は本来的に「学ぶ力」を持っているはずです。「学力」を「学ぶ力」と捉えると、人間は素晴らしい「学力」を持っています。私自身も日頃から「学力」を伸ばし続ける人間でありたいと思います。ぜひとも南高附属中のみなさんは、いつまでも「学力」を伸ばし続け、たくさん成長していきましょう。

節目を大切にすると…

2年学年主任

明日から3月。春は、出会いと別れの季節と言われます。今のクラスのみみなとお別れ。新たな仲間との出会い。卒業式や入学式等、さまざまなイベントが多いことも、春らしい特徴な気がしています。「学校」に所属していると、それ以外にも、たくさんのイベントや行事、はたまたテスト等があり、「明日は〇〇があるな」「来週は〇〇だ」と思うことも多くあるでしょう。そうした節目を大切にすべき理由は、どこにあるのでしょうか。

1 日で 1.2 メートルも伸びた記録があるという、「竹」。その成長のワケは…竹のもつ「節」にあるそうです。節ごとに「成長点」が、それぞれぐんぐんと伸びることで、全体も強く・大きく育つのだそう。そう考えると、人間も同じかな…と。イベントや行事だけでなく、テストや部活動の発表会や試合、みなさんが迎える節目こそ成長点です。もちろん、面倒なこともあるかもしれませんが。そんなとき、「どうせ同じ時間を過ごすなら、きちんとやっておくか」と思うと、不思議とその時間が自分にとってプラスに作用するものです。節目を大切に、「どうせやるなら」の精神ももちつつ、大きく成長していきましょう。

個性や多様性を認め合える世界へ

1年学年主任

今月、高校生のカナダ国際交流プログラム「姉妹校 Point Grey Secondary School 訪問」に帯同してきました。現地では、南高校生の活動に関わらせていただくとともに、観光スポットを沢山見学してきました。珍しく大雪が降ったようで、山は勿論のこと、バンクーバー市街地も、とてもきれいな雪景色となっていました。

カナダの人たちと関わる中で感じたのは、個人主義の強さです。大人も子どもも、「自分がどう生きたいか」という気持ちが前面に出ていました。また、それを互いに認め合おうとする関係性が素敵でした。まるで、他人を偏見や差別の目で見るのはもっての外だと言っているかのよう。私たちは、よく言えば「空気を読む力」が長けていますが、もう少し自己主張をしていいようにも思います。誰かの夢や目標を聞いた時、誰かが頑張っている姿を見た時、自分と異なる思考に出会った時、もっと認め合っているのではないのでしょうか。

人種、宗教や背景となる文化、LGBTQ+…など、様々な多様性を当たり前のように認め合える次の社会(ステージ)に、みんなの力で具現化していったらいいと思います。是非、4 月から学年が 1 つ上がることを良いキッカケにして、色々なことに全力でチャレンジし、互いを認め合える仲間や集団作りを目指していきましょう。君たちならできる!!

カードで作品鑑賞！

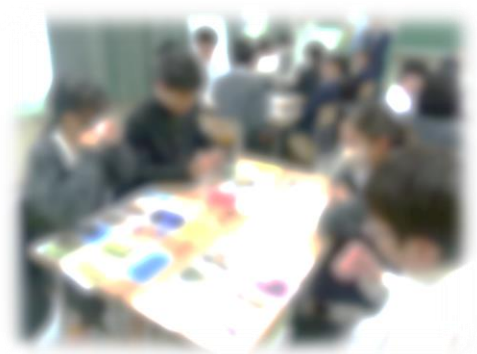
昨年の11月から行われている道徳リレー。普段は各クラスの担任が道徳の授業を受け持っていますが、この期間は学年の先生が交互に授業を担当しています。さらに今年度は、昨年度に引き続き中澤校長代理に「カードで作品鑑賞！」という授業を行っていただきました。この授業ではグループに分かれ、カードに描かれている作品を鑑賞しました。この授業のテーマは「客観的事実」と「主観的解釈」でした。みなさん様々な気づきを得ることができましたか。以下授業における生徒の振り返りです。



・初めの画像(赤い石)では、思ったより自分と異なる考え(カメムシや目の位置の違い)があって、自分の主観だけで決めつけちゃいけないと思った。グループ活動はとても楽しく、見たことのある絵や幾何学的な絵もあって感性が刺激された気がする。2つのヒントからどの絵が当てるゲームでは、時々答えと別の絵を選ぶこともあり、似たようなテーマにしてもだいぶ異なる形の絵になるのだなと思った。一年に一度の

授業楽しかったです!ありがとうございました。

・クラスメイトが出す2つのヒントからそのクラスメイトが選んだ絵を当てるゲームでは、自分と他の人達では考え方やものの見方、感じ方など全てが異なっていて、一つの作品でも無限に捉え方があることを知りました。作り手の表したいことをすべて一つの作品に詰め込むのはとても大変なことだけれど、だからこそそれに見合うほどの強い感情を見た人全員に深く与えられるので、芸術はとても素敵なことだと思いました。



・班での活動を通して、他人との見方や捉え方の違いを理解することがで

きました。1つの絵を選び、その絵の特徴を2つ述べて他の人に当ててもらうゲームでは、直接的な表現を避けなければいけなかったのが難しかったです。また、絵の共通点を探して並べていくゲームでは、他の人が言った共通点に最初は納得できないこともあったけれど、説明を聞いたら「確かにそう考えることもできる」と感じることができました。それと同じように、相手の考え方や自分の考え方が違うときは、なぜそう考えるのかを話しあって、少し広い視点で相手の考え方を捉えることが大切なのではないかと感じました。

・自分が抱いたイメージと周りの人が思うイメージが想像よりも異なっていて驚いた。また、なぜそう思うのか、どこから感じられるのかなど根拠を持つことが大切なのだなと思った。絵を描くことや音楽が苦手で芸術とは縁がないと思っていたが自分の想像を膨らませられるのは良いと思った。



1 年間をふりかえって

11 期生のみなさん、長くもあり短くもあった中学校生活3年間が終わりに近づき、いよいよ卒業となりますね。
11 期のみなさんの「人を大切にできる」ところは計り知れない素敵な魅力です。いつまでも「人を助け」、「人に助けてもらえる」人間であってください。これからの益々の成長を期待しています。

そして、保護者のみなさまのご理解とご支援にも、心よりの感謝を申し上げます。

卒業おめでとう。あっという間でした。あっという間だったけどとっても充実した 1 年間でした。毎日みんなに会うのが、授業をするのが楽しみでした。私を温かく受け入れてくれてありがとう。初めての生徒がみんなで良かったです。みんなのこれからはきっと今以上に素敵なものになると思います。周りへの感謝を忘れないでください。自分のことを大切にできる人になってください。頑張っている人は必ず誰かが見てくれています。そして、私もみんなのことをずっと応援しています。

3 年 1 組担任

11 期生のみなさんとは、授業で3年間、学年で2年間、担任で1年間と、1年ずつ関わりが深くなってきましたね。みなさんは3年間でどんな成長をし、どんな答えを出してきましたか。数学はいかに早く効率的に答えを出すかが大事ですが、人生は早く答えを出すことよりも、様々な経験を通して、自分なりの最適解を見つけることを大事にして下さいね。卒業おめでとう！

3 年 2 組担任

11 期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。この3年間、楽しくて幸せな時間をたくさん過ごすことができました。お誕生日のお祝いでは、みんなの優しさをたくさん感じていました。理科の授業では、みんなの工夫あふれる発表に何度も感動しました。これからもみんなの素敵な長所を大切にしていってほしいです。そして、幸せで楽しい人生を過ごしてほしいと思っています。本当にありがとう！

3 年 3 組担任

11 期生の皆さん、いよいよ卒業ですね。最初は英語が話せなかったみんなが、ホームステイなどで臆することなく話す姿を見て、大きな成長を感じて嬉しい気持ちになりました。分からない中でも積極的にトライして行く姿勢を、これから先の学校生活でも持ち続けてほしいです。

“Practice makes perfect.”繰り返し取り組むみんなの姿、これからも期待しています。素晴らしい3年間をありがとう！

3 年 4 組担任

11 期青学年の皆さん、卒業おめでとうございます。今、みんなは義務教育を終え次のステップに進むとき。高校は自由な部分が増え、個人の判断に任されることが多くなりますね。大人になる準備段階です。とはいえ、まだまだ悩むことは尽きません。一生懸命考えて、一生懸命実行したら、あとは流れに任せる。そして、頑張ってもうまいかないときは、誰かに、何かに頼ってみましょう。誰かに話すだけでも解決することもあります。「アケナイヨルハナイ」苦しくてもがいていると、または、じいーと備えて待っているとやりすごすことができます。次の手が見つかることも。一人ひとりの未来を応援しています。ありがとう！そして、これからもよろしく！

3 年 1・4 組副担任